

施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力・強み・人材の強化				政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	
施策主管課	産業振興支援課		課長名	篠田喜代志	内線	3510	政策担当部長名	産業経済部長 高田 修	
施策関係課名	産業振興支援課、工業課、農業課、林務課、観光課、商業・市街地活性化課、建設管理課、南信濃自治振興センター								
重点施策	○	関連計画	地域経済活性化プログラム、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、飯田市農業振興地域整備計画、飯田市酪農・肉用牛生産近代化計画、名勝天竜峡保存管理計画、名勝天竜峡整備計画、飯田市工業用地選定方針、飯田市森林整備計画、飯伊地域林業将来ビジョン						

1 施策の目的

目的	対象	事業者、従業員	
	意図	出荷額・付加価値額を高める取り組みを強化する	

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	工業統計による事業所数 飯田下伊那	所	542	526	558	未確定		530
②	農家戸数(5年に1回公表)	戸	5,349	5,021	-	-		4,800
③	森林組合の作業員数	人	197	201	200	202		220
④	経済センサス基礎調査及び活動調査による卸売業・小売業の事業所数 飯田下伊那(5年に1回公表)	所	2,433	-	-	2,191		2,000
成果指標 ※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
①	既存事業者の出荷額(工業) 飯田下伊那	億円	3,080	3,583	3,308	未確定		4,386
②	農協組織等の販売額(農業) 飯田下伊那	億円	188.0	197.5	187.5	194.6		200.0
③	素材生産額(林業) 飯田下伊那	億円	3.1	2.8	3.2	未確定		4.0
④	既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那	億円	113	102	103	98		129
⑤	飯田商工会議所各支部の事業数	件	96	92	85	85		90
⑥								
⑦								

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	事業者の活動を支援する	① 支援事業数 (本施策の事務事業数)	① (34)	45		55
			② 講座数(産大、工業課資料)	② 39	46		40
			③ 講座への参加者数(産大延受講者数、工業課資料)	③ 1,135	1,147		1,200
			④ 観光客に対する情報提供数 (市内5ヶ所案内所)	④ 71,750	70,763		78,600

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項
市民等	事業者(企業・農林業者等)	技術力・マーケティング力を高める 魅力、強み、人材を強化する	・製造品出荷額等 ・講座、研究会等への参加数	・タレントの産業親善大使(水引・市田柿大使)を委嘱した。 ・平成24年 共同製材施設「ほうりん」が竣工し、稼働した。
	経済団体(観光公社、飯田観光協会、商工会議所、農協、森林組合等)	事業者の活動を支援する	・事業者に対する情報提供数 ・講座の開催回数 ・参加者数	

3. 平成24年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

- 計画どおり取り組めた
- おおむね計画どおり
- あまり取り組めなかった
- 達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

- 進んだ
- ある程度進んだ
- あまり進まなかった
- 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

出荷額・付加価値額を高める取り組みを強化する意図で、未来を見据えて既存の地域産業の魅力・強み・人材の強化を、各産業で課題を把握する中で業界と協働で積極的に進めてきた。施策全体では、ある程度進んだと評価する。

【事務事業群テーマ別の評価】

<工業人材育成・技術向上、受注の支援、工業施策の推進>

・働きながら学べる環境を企業に提供し、特にものづくり高度人材育成事業や飯田産業技術大学事業については、域外の大学や支援機関をはじめ、地元は技術専門学校や工業高校や企業と連携したことにより、受講企業数も増加し、1,000人以上の受講実績をあげることができた。また、次世代のものづくり人材育成のため、新規に青年会議所と連携し、体験型「お仕事キッズタウン」のイベントを開催し、2,000人以上の子供たちがものづくり産業の魅力に触れることができた。
・また、長年地元で貢献された技能技術者を褒賞するとともに、飯田高等職業訓練校で働きながら技能を習得する勤労者の職業訓練を支援した。

<農業関係団体の支援、農家・農業者の支援、ブランド化の推進>

・中山間地域等直接支払制度を活用した農地保全や集落営農に向けた意欲的な取り組む地区があった。
・市田柿については、新たな支援制度構築による基盤強化の促進と若年層を対象に、新たな需要創造のためのプロモーションを農協等と連携し取り組んだ。
・野生鳥獣被害対策については、農作物への被害対策と有害鳥獣捕獲従事者の資格取得・更新の費用を支援し、捕獲従事者の育成を図った。しかしながら、サルを中心とした被害が増加している。

<林業関係団体の支援、森林の整備管理、地域産材利用の促進>

・飯伊森林組合の新共同製材施設「ほうりん」が竣工し、稼働が開始されたことにより、更に飯田市産材の域産域消の推進に繋がった。また、高性能機械の導入に対して支援を行い、搬出間伐など森林整備の作業効率を向上させ、コスト削減など林業生産機能向上に推進した。

<観光関係団体の支援、観光地のPR、観光施設の維持管理>

・観光ガイドの会による観光案内を充実した(105回)。また、中央アルプス登山道整備、大平宿民家の補修を行った。
・天龍峡では、観光拠点づくりに向けた公園等の整備を行い、観光客受け入れのおもてなし向上を図った。

<経済団体の支援>

・飯田商工会議所が行う各種事業等に対して支援を行った。また、商栄会や商業者の団体等が行う地域商業の活性化のための事業に対して支援を行った。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

<工業人材育成・技術向上、受注の支援、工業施策の推進>

- ・ものづくり高度人材育成事業については、すでに17名の修士取得者を輩出しているが、受講する企業が限定されていた。そこで、幅広い企業の受講参加と一段階上の修士課程コースへの受講参加につながるために、信州大学工学部と連携し、新たに特別過程1年コースを創設して取り組んでいきたい。
- ・また、昨年、長野県で開催された技能五輪による優秀な若い技能技術者を、今後も引き続き地元で育てていきたい。

<農業関係団体の支援、農家・農業者の支援、ブランド化の推進>

- ・農業分野では、地域一体の農地保全や集落営農の取組に地域間格差があるため、モデル的な取組を他地区に波及させる取組を推進する。
- ・市田柿については、更なる生産基盤の強化と情報発信ツール等を利用し、若年層を中心にブランド発信に積極的に展開する。
- ・また、鳥獣による農作物被害の対策として、サルを中心に取り組みを強化していく。

<林業関係団体の支援、森林の整備管理、地域産材利用の促進>

- ・搬出間伐材の利用拡大のための仕組みづくりが課題であるため、飯田市産材の利用拡大に向けたPRや宣伝が必要不可欠であり、搬出間伐を積極的にするために、高性能林業機械の導入を推進し、森林整備の生産性の向上を図る。

<観光関係団体の支援、観光地のPR、観光施設の維持管理>

- ・観光ガイドを利用したツアーの推進していく。

<経済団体の支援>

- ・引き続き、社会情勢を踏まえるとともに将来を見据えながら、事業者の団体等が自ら行う商業活性化のための事業等に支援を行う。